

社会資本総合整備計画

平成26年3月28日

計画の名称	1 広島県における流域下水道事業の防災・安全対策の推進		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	広島県
計画の目標			

太田川、芦田川及び沼田川は、それぞれ本県を代表する河川であり、生活用水をはじめ、工業用水、農業用水として重要な水源となっている。また、瀬戸内海も本県の経済を支えるとともに、日本初の国立公園に指定されるなど県民の貴重な憩いの場になっている。  
 一方、各河川の流域は、近年都市化の伸張がめざましく、公共用水域の汚濁が進行している状況にある。  
 このため、太田川、芦田川及び沼田川の各流域下水道事業により、広域的な下水道整備のスケールメリットを働かせ、健全な水環境の回復を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- 各流域の市街地部から発生する汚水を浄化し、公共用水域へ排出される汚濁物質を削減する。（汚濁物質の削減量：H22当初9,700t→H26末12,500t）

定量的指標の定義及び算定式

各流域下水道の終末処理場で、流入汚水を処理して汚濁物質（BODで表示）を除去する量。  
 1年間で除去する汚濁物質（BODで表示）の量（t）  
 =【流入水質BOD - 放流水質BOD】×年間処理下水量（t）

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 中間目標値 最終目標値

(H22当初) (H24末) (H26末)

9,700t	11,300 t	12,500 t
--------	----------	----------

備考

全体事業費	合計 (A+B+C)	3,080百万円	A	3,080百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---------------------------	------

交付対象事業

A1 下水道事業													全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）								
											H22	H23			H24	H25	H26		
1-A1-7	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	改築	太田川流域下水道 東部浄化センター	長寿命化計画（重力濃縮設備、最終沈殿池設備等） （148,380m3/日）	広島市			■	■	■	■	■	710	（長寿命化） H29まで
1-A1-8	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	改築	太田川流域下水道 瀬野川処理区	流量計等更新 （11箇所）	広島市・府中町 海田町・坂町 熊野町		■	■	■	■	■	■	100	（長寿命化） H23-24：地域 自主戦略交付 金
1-A1-9	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	改築	太田川流域下水道 調査・設計	長寿命化計画策定、耐震 設計等	広島市・府中町 海田町・坂町 熊野町		■	■	■	■	■	■	100	（長寿命化） H23-24：地域 自主戦略交付 金
1-A1-106	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	改築	芦田川流域下水道 芦田川浄化センター	長寿命化計画（反応タンク、 沈殿池、特殊電源設備等） （168,000m3/日）	福山市								1,700	（長寿命化） H29まで
1-A1-107	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	改築	芦田川流域下水道 調査・設計	長寿命化計画策定、耐震 設計等	福山市		■	■	■	■	■	■	100	（長寿命化）
1-A1-203	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	改築	沼田川流域下水道 沼田川浄化センター	長寿命化計画（沈砂池設 備、管理本館監視制御設 備等）	三原市								320	（長寿命化） H23-24：地域 自主戦略交付 金
1-A1-204	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	改築	沼田川流域下水道 調査・設計	長寿命化計画策定、耐震 設計等	三原市		■	■	■	■	■	■	50	（長寿命化） H23-24：地域 自主戦略交付 金
													合計	3,080					

B 関連社会資本整備事業													全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)						
										H22	H23	H24			H25	H26
合計													0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業													全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)						
										H22	H23	H24			H25	H26
合計													0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

**その他関連する事業**

事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者			要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
1-A1-1	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	太田川流域下水道 東部浄化センター	ポンプ施設 (ポンプ設備) (41,650m3/日)	広島市						0	
1-A1-2	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	太田川流域下水道 東部浄化センター	水処理施設 (41,650m3/日)	広島市	■	■				1,748	
1-A1-3	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	太田川流域下水道 東部浄化センター	汚泥処理施設 (濃縮・消化・脱水設備) (41,650m3/日)	広島市	■	■				779	
1-A1-6	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	太田川流域下水道 調査・設計	新設整備調査・設計, 未 利用エネルギー活用検討 等	広島市	■		■	■	■	60	
1-A1-101	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	芦田川流域下水道 芦田川浄化センター	ポンプ施設 (ポンプ・沈砂池設備) (33,600m3/日)	福山市	■	■	■	■	■	2,100	
1-A1-102	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	芦田川流域下水道 芦田川浄化センター	水処理施設 (33,600m3/日)	福山市	■	■	■	■		1,290	
1-A1-103	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	芦田川流域下水道 芦田川浄化センター	汚泥処理施設 (固形燃料化施設) (24,400wet-t/年)	福山市				■	■	130	H28まで
1-A1-105	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	芦田川流域下水道 調査・設計	新設整備調査・設計, 未 利用エネルギー活用検討 等	福山市	■		■	■	■	30	
1-A1-201	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	新設	沼田川流域下水道 沼田川浄化センター, 沼田川処理区	汚水管 L=4.8km (マン ホールポンプ, 計測計器等 含む)	三原市・東広島市	■	■	■	■	■	600	H23-24:地域 自主戦略交付 金
1-A1-202	下水道	一般	広島県	直接	-	汚水	増設	沼田川流域下水道 調査・設計	新設整備調査・設計, 未 利用エネルギー活用検討 等	三原市		■	■	■	■	60	H23-24:地域 自主戦略交付 金

(参考図面)

計画の名称	1 広島県における流域下水道事業の防災・安全対策の推進	交付対象	広島県
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

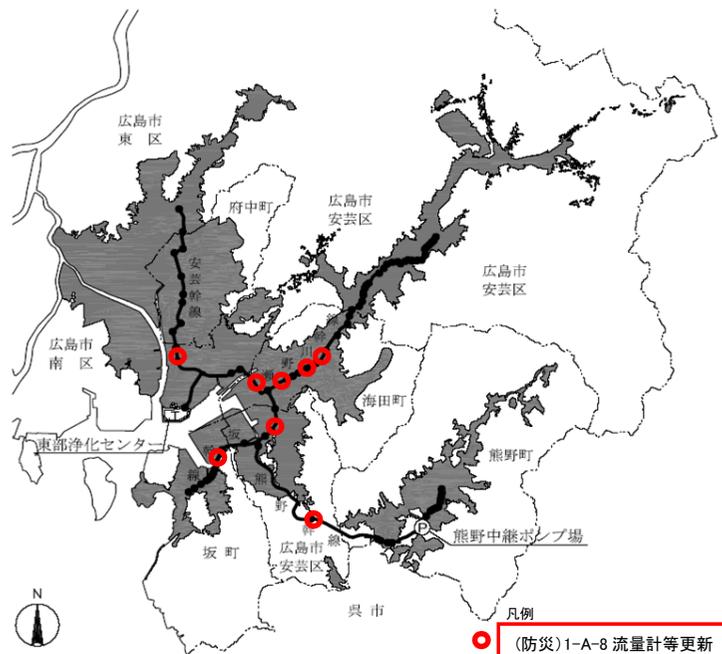
### 広島県流域下水道概要図



(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 広島県における流域下水道事業の防災・安全対策の推進	交付対象	広島県
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)		

太田川流域下水道概要図



(防災)1-A-8 流量計等更新

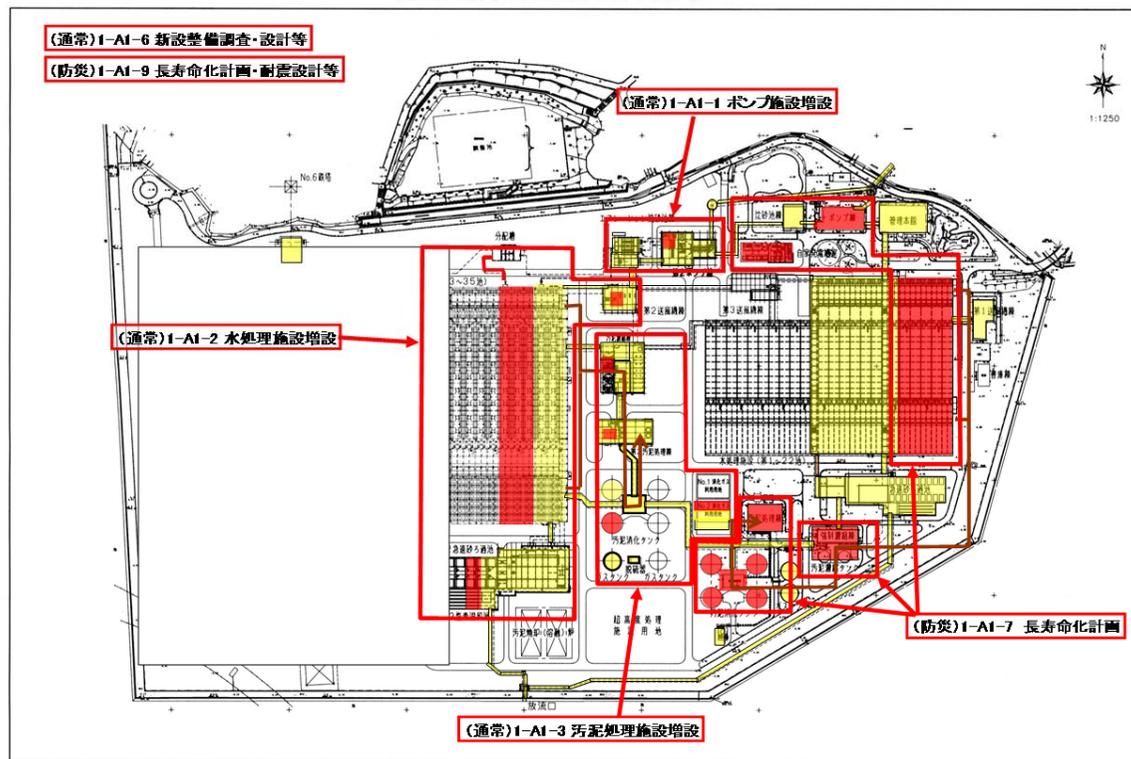
凡例

	計画区域
	行政区境界
	幹線(計画)
	幹線(敷設済)
	中継ポンプ場
	処理場

事業主体  
 広島県  
 1市4町  
 広島市  
 安芸郡府中町  
 海田町、坂町  
 熊野町

東部浄化センター平面図

太田川流域下水道東部浄化センター



(通常)1-A1-6 新設整備調査・設計等  
 (防災)1-A1-9 長寿命化計画・耐震設計等

(通常)1-A1-1 ポンプ施設増設

(通常)1-A1-2 水処理施設増設

(防災)1-A1-7 長寿命化計画

(通常)1-A1-3 汚泥処理施設増設

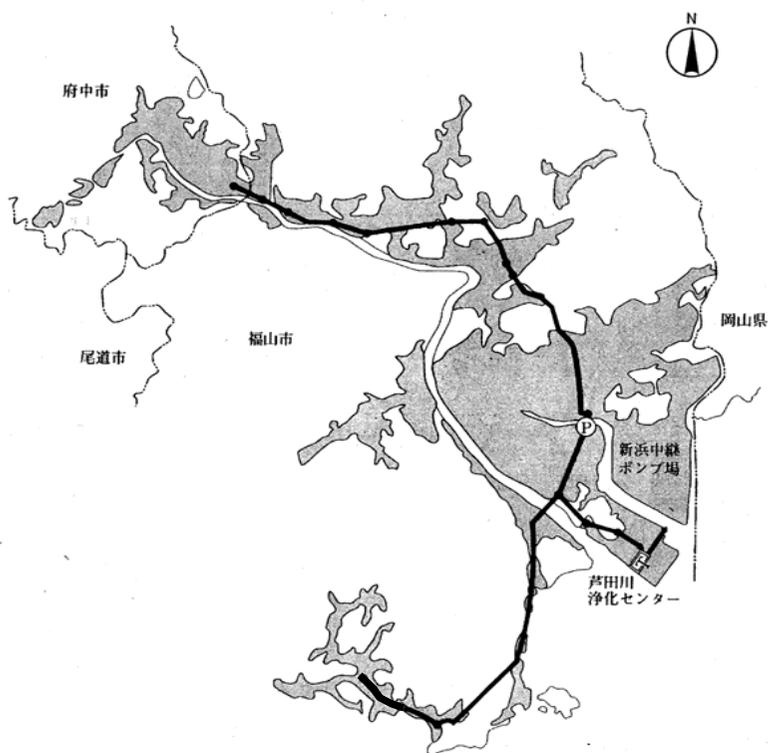
凡例

	対象施設
	供用中

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 広島県における流域下水道事業の防災・安全対策の推進	交付対象	広島県
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

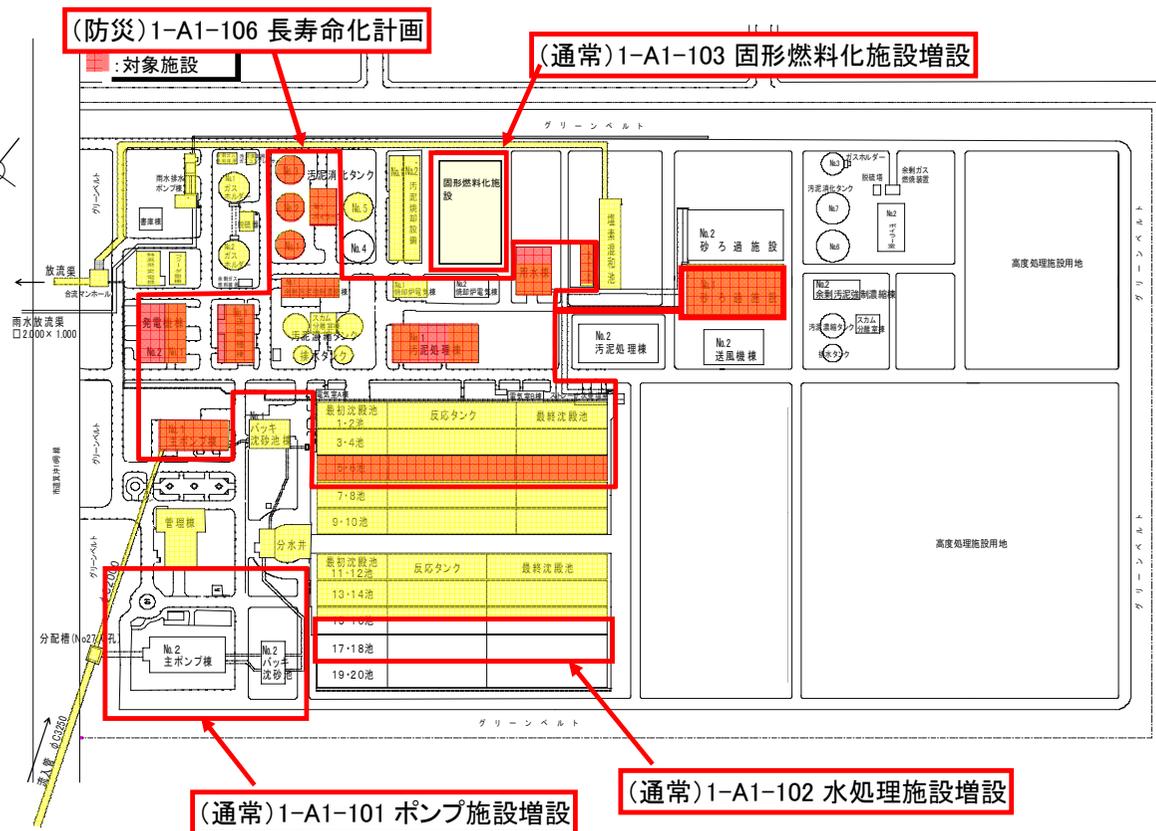
芦田川流域下水道概要図



事業主体 広島県  
関係市町 2市  
(福山市、府中市)

凡 例	
	計画区域
	行政区域界
	幹線(計画)
	幹線(敷設済)
	中継ポンプ場
	処理場

芦田川浄化センター平面図

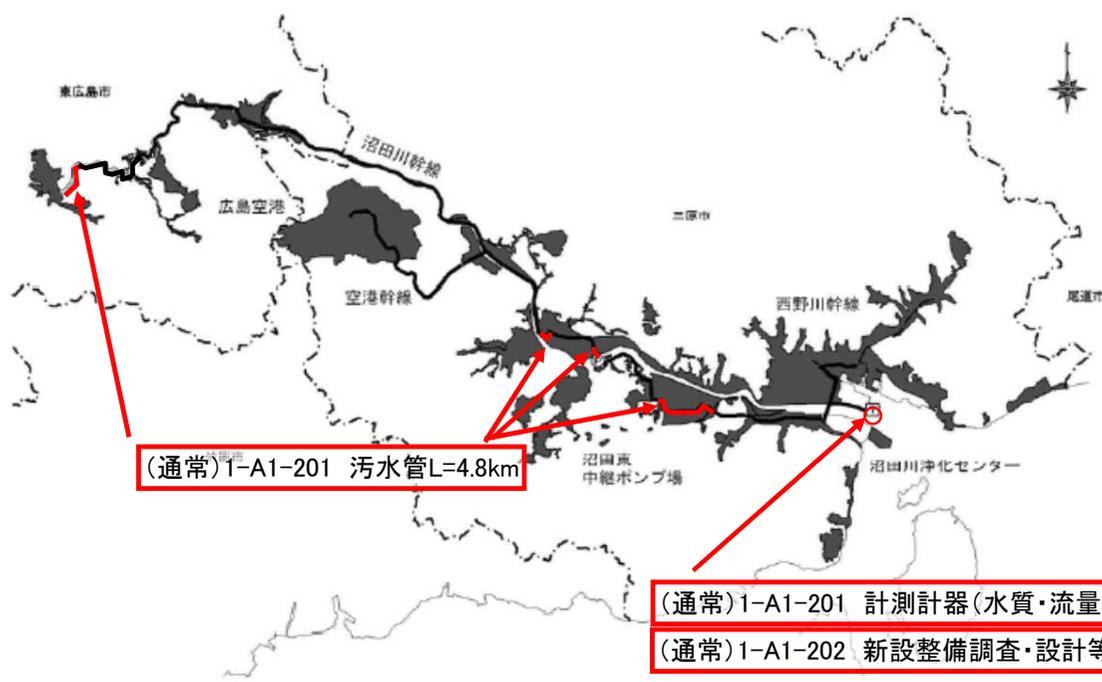


凡例	
	対象施設
	供用中

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 広島県における流域下水道事業の防災・安全対策の推進	交付対象	広島県
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

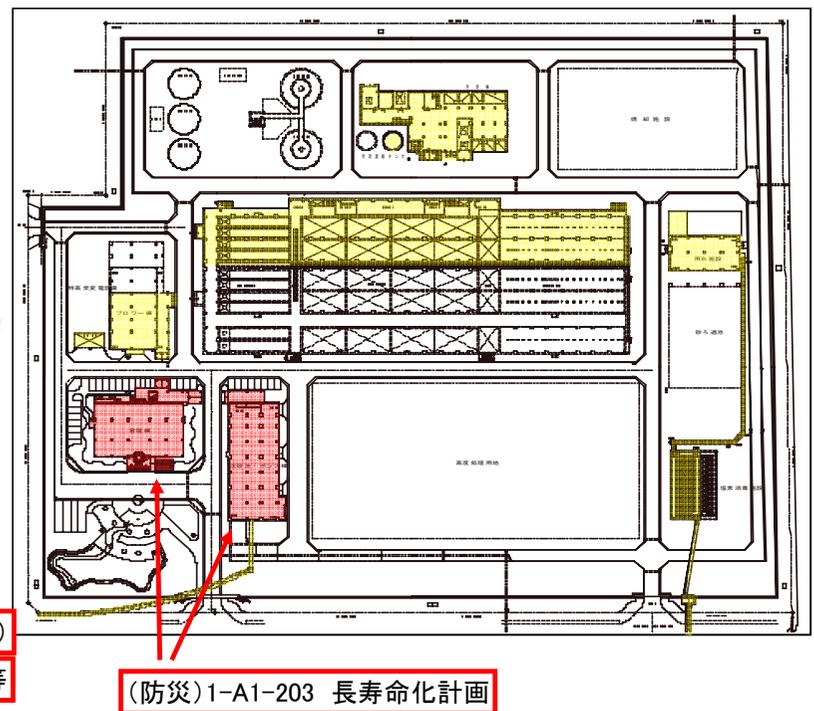
沼田川流域下水道概要図



事業主体 広島県  
関係市町 2市  
(三原市 東広島市)

凡例	
	計画区域
	行政区境界
	幹線(計画)
	幹線(敷設済)
	中継ポンプ場
	処理場

沼田川浄化センター平面図



凡例	
	対象施設
	供用中

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(広域連携事業等タイプ)

計画の名称: 広島県における流域下水道事業の防災・安全対策の推進 事業主体名: 広島県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
<b>①基本方針・上位計画等との適合等</b>	
1) 基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
(該当するものに○) 1 国土形成計画全国計画    2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 3 社会資本整備重点計画    4 環境基本計画    5 その他(以下の空欄に計画名を記載)下水道法事業計画	
<b>②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係</b>	
1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	-
II. 計画の効果・効率性	
<b>③目標と事業内容の整合性等</b>	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	-
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	-
<b>④事業の効果</b>	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
<b>⑤計画の具体性</b>	
1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	-
2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	-
<b>⑥円滑な事業執行の環境</b>	
1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	-
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	-